

2017年5月15日

各 位

オリックス株式会社
(コード番号：8591)

2017年3月期の剰余金配当および2018年3月期の配当予想について

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、本日開催の取締役会において、下記のとおり2017年3月31日を基準日とする剰余金の配当予定額を決議しましたのでお知らせします。本件は、当期（2017年3月期）にかかる計算書類の法定監査を経て、2017年5月23日に開催される取締役会において正式に決定される予定です。

また、2018年3月期の配当予想について、下記の通りとしますので、あわせてお知らせします。

記

1. 配当の内容（2017年3月期）

	決定額	直近の配当予想 (2016年10月26日公表)	前期実績 (2016年3月期)
基準日	2017年3月31日	2017年3月31日	2016年3月31日
1株当たり配当金 (年間配当額)	29円25銭 (52円25銭)	28円00銭 (51円00銭)	23円75銭 (45円75銭)
配当金の総額 (年間合計額)	38,162百万円 (68,320百万円)	—	31,141百万円 (59,987百万円)
効力発生日	2017年6月6日	—	2016年6月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 利益配分に関する基本方針および1株当たり配当金の変更理由

当社は、事業活動で得られた利益を主に内部留保として確保し、事業基盤の強化や成長のための投資に活用することにより株主価値の増大に努めてまいります。同時に、業績を反映した安定的かつ継続的な配当を実施いたします。

また、自己株式取得についても、必要な内部留保の水準を考慮しつつ、経営環境の変化、株価の動向および財務状況などを勘案のうえ、弾力的・機動的に対処してまいります。

当期の1株当たり配当金につきましては、前期より配当性向を2%向上させ、25%を目安として決定しました。

3. 2018年3月期配当予想（中間配当）

2018年3月期の配当の決定にあたっては、利益成長に向けた積極的な投資機会の獲得と配当との最適なバランスを重視し、1株当たりの中間配当金の予想額は27.00円とします。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
配当予想	27.00円	—	—

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 橋本・松村 TEL：03-3435-3167

■本プレスリリースに関する注意事項

本プレスリリースに掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本プレスリリースは情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。